

東西の玄関口で二子町をPR 二子町案内看板設置

二子町案内看板設置は11月27日、二子町内で行われました。同事業は、看板製作を通じて同町の魅力のPRと子どもたちの郷土愛を育てることを目的に、二子町振興協議会と北上北中学校が実施。看板は同校の生徒がデザインし、同町の東(中央橋西側)と西(同町南田)の市道脇に設置されました。



デザインの募集を企画した同校生徒会長の正本文也くん(3年)は「二子はみんなやさしく元気なまち。訪れた人が看板で興味を持ってくれると思う」と話していました。

看板を設置する正木くん(中央)と、絵をデザインした小田島洸くん(3年)、高橋萌香さん(3年)



非常時に備え、火を使わずにお湯をわかす方法や非常食の作り方などを学びました

いざという時助け合うために 防災ワークショップ

防災ワークショップ(黒沢尻東地区自治協議会主催)は11月19日、同地区交流センターで行われました。同事業は、増加傾向にある外国人住民と日本人住民とが互いに快適に暮らすため、災害時の避難所運営などのテーマに沿ったワークショップを実施したもの。外国人を含む約60人が避難所での問題解決や、非常食の作り方などを学びました。ペルー出身の小谷マルハさん(鬼柳町)は「対応を知っていればいざという時役に立つので勉強になった」と話していました。

スーパースターと市内を走る きたかみ新城ロード100サイクリング

プロロードバイクレースの新城幸也選手(バーレーン・メリダ所属)が11月27日、市を訪れました。同氏が監修した市内16地区を回る「きたかみ新城ロード100」を同氏と参加者12人がサイクリング。ホテルシティプラザ北上をスタートし、お滝さん(黒岩)や樺山遺跡(稲瀬町)など、晩秋の景色を楽しみながら約30kmのコースを駆け抜けました。

参加者の澤田博泰さん(48歳・東京都)は「良い陽気の中、新城さんと走れてうれしい」と話していました。



「きたかみ新城ロード100」を新城さんと共に走る参加者ら



舞台で舞を披露する煤孫ひな子剣舞の皆さん(煤孫ひな子剣舞保存会提供)

全国の舞台で舞う 煤孫ひな子剣舞・全国民俗芸能大会に出演

煤孫ひな子剣舞は11月24日、日本青年館ホール(東京都新宿区)で行われた第67回全国民俗芸能大会に出演しました。出演に先立ち11月7日、同剣舞保存会(武田正雄会長)が市長を表敬訪問。高田聖英くん(いわさき小4年)は「練習の成果を出したい」と意気込みを語っていました。同剣舞は岩手県の無形民俗文化財に指定されています。今回は全国から4団体が出演。同剣舞は東北から唯一の出演となりました。同大会では20分間にわたり、7演目の踊りなどを披露しました。

ゆったり“^{こびる}小屋”しませんか 夏油古民家カフェ^{こびる}kobiruオープン

夏油古民家カフェkobiruは11月23日、グランドオープンしました。同店は、北上市地域おこし協力隊の中村吉秋さん・邦子さん夫妻が、新夏油橋そばの空き家となっていた築80年の古民家を2年6カ月かけカフェ兼夏油観光案内所に改修したもの。当日はバールンリリースや岩崎鬼剣舞スポーツ少年団による舞などでオープンを盛大に祝いました。小田嶋広耀くん(いわさき小5年)は「店内は木がいっぱい使われていていい。クレープがおいしかった」と話していました。



地域内外から多くの人々が来店し、ハンドドリップのコーヒーなどを味わいました



20周年を祝い、あぐり夢くちないの屋根から20000個の餅がまかれました

地域に愛されて20年 あぐり夢くちない創業20周年

あぐり夢くちないが創業20周年を迎え、11月24日、市内のホテルで記念式典が行われました。同店は口内町活性化の方策の一つとして、平成10年12月にオープン。現在、地域内外約440人の組合員が登録しています。11月17日・18日には20周年を記念し創業祭が行われ、両日合わせ2000人を超える人でにぎわいました。運営する直売センター北上協同組合の昆野幸作理事長は「ますます親しまれる直売所を目指し、組合員一丸となって頑張っていく」と語りました。

百歳 これからもお元気で 下江釣子の小原喜代子さん

喜代子さんは大正7年12月15日江釣子生まれ。23歳の時に故鉄雄さんと結婚し、子1人、孫4人、ひ孫9人、やしゃご4人に恵まれています。26歳のとき、太平洋戦争に出征していた鉄雄さんが戦死。家計を支えるため江釣子村役場に勤務し、戸籍登録などの業務に従事しました。現在は、自分のことは全てご自身で行い、日記を書いたりなどして過ごしています。また、食べ物の好き嫌いもなく、なんでも食べるとのこと。百歳を迎え「よく百歳まで生きたなあ」と話していました。



家族と高橋市長に囲まれ祝福を受ける喜代子さん前列中央

スキー・スノーボード客から長蛇の列ができたゴンドラ乗り場



豪雪！暖冬ニモマケズ 夏油高原スキー場18-19シーズンオープン

夏油高原スキー場が9日、今シーズンのスタートを切り、訪れた約1,000人のスキー・スノーボード客がパウダースノーを楽しみました。当初は1日のオープン予定が、降雪に恵まれず8日遅れのシーズンスタートとなった同スキー場。今シーズンは、小型スノーモービルで雪上を走るアクティビティなど、新たな事業をスタートします。同スキー場を運営する(株)北日本リゾートの村松麻人支配人は「12万人の来場者を目標に安全第一で運営していく」と決意を語りました。